

リペアクリートAR/AR-M

リペアクリートは水との混合のみで短時間で硬化する無機系材料です。プライマーを必要とせず、プラスチック・ステンレス以外のほとんどのものに付着可能です。また、これまでの補修材で得ることが難しかった早強性を有し、短時間で車両通行可能な実用強度に達します。さらに硬化調整材を添加することであらゆる温度での可使用時間を調整することが可能です。



用途

- コンクリート・アスファルト床の補修・補強
- 道路などに発生したクラック、ポットホールのパッチング及び充填補修・補強
- 縁石、側溝など構造物の角欠け補修・補強
- 施工時の臭いが問題となる地下街店舗や各種公共施設の補修・補給
- 早期の実用強度発現が求められる復旧工事

使用場所

- 道路・歩道・駐車場
- 橋梁・トンネル
- 工場・倉庫・冷蔵庫
- 一般建築物など、各種構造物

特長

- プライマー不要
- コンクリートやアスファルトなどとの接着性に優れる
- 施工後60分(20℃)で早期開放可能(軽歩行)
- プレミックスタイプであり、水との混合のみで使用可能
- 耐溶剤性に優れているので溶剤系床材が塗布可能
- 無機材料のためニオイがない
- 難燃性
- 長期保存可能

※カラータイプ及び立面施工についてはお問い合わせ願います。

段差補修



性能

項目		リベアクリートAR	リベアクリートAR-M
添加水分量		20%	15%
強度 早強性	曲げ強度 Mpa JIS R5201	3日	5~6
		7日	6~7
		28日	8以上
	圧縮強度 Mpa JIS R5201	3hr	10~15
		3日	35~40
		7日	40~45
28日	50~60		
耐衝撃性 NNK-002に準拠		10回異常なし	
難燃性		1200℃焼成において耐性を有している	
寸法安定性 JIS A6916に準拠		28日後 約0.02%	

※測定値は参考値です。また30℃における可長時間及び硬化時間は硬化調整材添加して測定したものです。

項目		リベアクリートAR	リベアクリートAR-M
密度		2g/cm ³ 20kgで1m ³ (10mm厚)	
添加水分量		18.5%~22%	15~17%
施工性 硬化性	可長時間	5℃	30~40分
		30℃	10~15分
	硬化時間 (軽歩行可能時間)	5℃	60~90分
		30℃	40分
攪拌方法		ミキサー、手練り (5kg単位)	
製品概要		薄塗用	厚塗用
接着性 建研式接着力試験	コンクリート	3.5N/mm ²	
	アスファルト	2.0N/mm ²	

塗り重ね適性試験 (接着性)

項目			
塗り重ね適性 建研式接着力 試験	MMA樹脂	3hr	X~△ 0.7N/mm ²
		1日	X~△ 1.8N/mm ²
		皮スキ※	X
	溶剤型ウレタン樹脂	3hr	◎ 2.0N/mm ²
		1日	◎ 2.1N/mm ²
		皮スキ※	◎
	溶剤型エポキシ樹脂	3hr	◎ 2.1N/mm ²
		1日	◎ 2.8N/mm ²
		皮スキ※	◎

※皮スキによる強制剥離

接着性・塗り重ね評価 JIS A6916に準拠
◎: 良く付いている ○: 問題無く付いている
△: MMA界面から剥離 X: 使用不可

使用量の目安 (AR、AR-M)

施工厚	リベアクリートAR	リベアクリートAR-M
3mm	6kg	-
5mm	10kg	10kg
10mm	-	20kg

※密度: 2kg/m³で計算した1m²あたりの使用量。
※4号珪砂を添加することで10mm以上も施工可能となります。
※4号珪砂の最大添加量はリベアクリートAR: 70%、リベアクリートAR-M: 30%となります。

製品形態

製品形態	<ul style="list-style-type: none"> 20kg/ペール缶 (10kg/袋×2袋、硬化調整材200g×1袋) 20kg/紙袋 硬化調整材別売り
------	--

使用方法

①下地処理

・補修箇所にある、ごみや泥を除去して下さい。塗料が塗っている場合はハツリとるか研磨などで除去して下さい。

②水を混ぜます

・添加水分量はリベアクリート粉体使用量に対してそれぞれAR: 18.5~20%、AR-M: 15~17%が目安です。

・小分けする場合は本製品をよくかき混ぜておくとより均一な施工体となります。

※施工時の気温が25℃以上の場合、付属の硬化調整材200g入り袋の半分(目分量: 100g)を添加して下さい。

③本製品と水がまんべんなく十分に混ざり合う様に攪拌します

・練り混ぜはミキサーなどの攪拌機を使用して下さい。

・攪拌機による攪拌時間は約2~3分でスラリー状となりますので目安にして下さい。

・珪砂を添加する場合は、最大でAR: 70%、AR-M: 30% (4号珪砂)として下さい。

※手練の場合は、粉体を5kgに小分けしてから使用する事をお勧めいたします。

その際には床又は平らな場所に置いて袋をよく揉んで下さい。混合時間は約2~4分です。

④練りあがった本製品を、施工箇所に鏝で塗付けて仕上げます

・施工箇所の温度が高い場合、硬化が早くなります。施工前に打ち水や、完全に硬化する前に霧吹きなどで水を吹き付けながら施工すると、可長時間を延ばすことが可能です。

取扱い注意事項

ご使用前に必ず、技術資料・施工要領書・取扱説明書・安全データシート(SDS)をお読みください。入手方法につきましては下記へお問い合わせ下さい。

【安全衛生】

①使用する際は、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋などの保護具を着用して下さい。

②目に入った場合、直ぐに流水で洗い流して下さい。目をこすると傷がつきますので、こすらず静かに十分に洗い流した後、必ず眼科医の診察を受けて下さい。

【使用上の注意】

①使用した容器やドリル、鏝などは直ぐに水で洗浄して下さい。

②施工箇所が日中40℃を越える場合は比較的低温の低い午前中の施工を推奨いたします。施工箇所が高温時には、硬化速度が速くなるので、一度に使用する量を調整下さい。

③添加水分量は目安です。必要に応じて調整下さい。

④吸湿性を有する粉体のため湿気厳禁。開封後は使い切ってください。

⑤施工時の気温が10℃以下の場合、材料の温度が12℃位になるまで、混練してから使用してください。

⑥リベアクリートAR及びAR-Mは水、湿度の影響を受けると配合組成上必ず白く成りますが、性能、物性には問題ありません。

※リベアクリートAR(AT-M)硬化後、上塗り等の着色を行なう事で白変問題を解消する事が可能です。



本社 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-28 TEL(052)551-9400

問い合わせ営業所

名古屋営業所 〒465-0092 名古屋市名東区社台3-2-28 TEL(052)771-6141

東京営業所 〒115-0051 東京都北区浮間3-30-9 シマザキビル2階 TEL(03)6454-9796

大阪営業所 〒564-0043 大阪府吹田市南吹田3-8-34 TEL(06)6338-7601

松本営業所 〒390-0862 松本市宮瀬1-4-34 TEL(0263)32-2908

工場・技術部

亀崎工場 〒475-0029 半田市亀崎常盤町1-2-0 TEL(0569)28-1101

土岐工場 〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口字中山1372-1 TEL(0572)55-6801

技術部・開発部 〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口字中山1372-1 TEL(0572)54-3320

URL <http://www.bishu-k.co.jp>